

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 75

事務事業名	庁舎等改修事業
-------	---------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	財政部		
課名	用地管財課		
課長名	吉井 実	内線	355
担当者名	富浦 幸二郎	内線	269

基本目標	-
政策	999999 -
施策	その他
関連施策	

会計	1	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	5	一般管理費
事業コード	020200	庁舎等改修事業

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	庁舎		
意図 対象をどのような状態にしたいか	必要な設備等の改修を行い、来庁者の安全を確保するとともに、快適な執務環境を維持し、円滑な行政事務が遂行できるようにする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	庁舎の改修を行う。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 改修の箇所件数	計画値	6	4	6	8	
		実績値	14	4	6		
		達成度	%	233.3%	100.0%	100.0%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	①	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	16,160	12,030	13,425	17,611	14,589	14,589	14,589	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	16,160	12,030	13,425	17,611	14,589	14,589	14,589	
② 人件費(千円)	2,991	4,992	2,629	2,585	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.35	0.65	0.35	0.35	庁舎改修工事	庁舎改修工事	庁舎改修工事	
時間外勤務(時間)	105	40	80	20				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	19,151	17,022	16,054	20,196				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度は、本館1号機冷温水ユニット定期分解整備工事、本館吸収冷温水機用冷却塔整備工事、別館冷却水ポンプ交換工事、市庁舎ガス管入替工事等を実施した。 平成28年度は、本館3号機冷温水ユニット定期分解整備工事、本館吸収冷温水用冷温水ポンプ交換工事、別館吸収冷温水機用冷温水ポンプ交換工事、議場屋上防水工事、議場LED照明取替工事等を実施する予定である。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	施設、設備の老朽化により、突発的な改修工事の増加が予想される。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

施設を維持していくうえで、必要最小限の改修を行っている。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	施設を維持管理していくうえで、必要不可欠な事業であるので、現状維持とする。なお、平成29年度も早急に改修が必要な場合は随時行う。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。